


エコアクション21

環境活動レポート

(平成21年8月16日～平成22年8月15日)



作成日：平成22年10月20日

 高木建設株式会社

目 次

1, 環境方針	3
2, 組織の概要	4
3, 基準年の環境負荷と環境目標	6
4, 環境活動計画の内容と達成状況	9
5, 環境活動の取組結果の評価	12
6, 社会及び地域への取組み	12
7, 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	12

1, 環境方針

○ 環境に対する基本理念

当社は「信頼・貢献・挑戦」のもと、『自然にやさしく、人にやさしく！』をスローガンとして、自然環境やそこで暮らしている人々に十分な配慮をし、影響する負荷を最小限に抑えるために努力を継続してまいります。社会的要請である温暖化防止と環境保全に対して当社としての姿勢と活動を明確にします。

○ 基本姿勢

社是を推進する基本要件は、「品質・安全・そして環境」と位置づけます。この三つの要件に共通する対応姿勢は、無理・無駄をなくし、整理・整頓に努めることです。これを基本姿勢といたします。

○ 環境方針

前記しました「基本理念」と「基本姿勢」を踏まえて次の四つを環境方針をといたします。

- ① 省エネルギーに努めて、これに付随して発生する有害ガス（CO₂, NO_x, SO₂等）削減のための方策を整えてこれを実行します。
- ② 当社の事業活動によって発生する産業廃棄物及び不用副産物の分別を行い、再資源化を図ります。
- ③ 節水に心掛け、排水はそのまま放流することなく、再利用と浄化に努めます。
- ④ 環境関係法令の遵守と実行をし、取組状況を公表いたします。

これらの内容は、全ての従業員に周知させます。また、環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。

平成21年10月1日

高木建設株式会社

代表取締役社長 **高木 正雄**

2. 組織の概要

1) 事業所及び代表者名

高木建設株式会社
代表取締役社長 高木 正雄

2) 所在地

本社	長野県長野市安茂里小市1丁目3番31号
機材センター	長野県長野市安茂里小市1丁目1番9号
高府営業所	上水内郡小川村大字高府8451
中条営業所	上水内郡中条村大字中条字堀切46
エースホーム長野店	長野県長野市安茂里小市1丁目3番19号

3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	専務取締役 高木 春光
担当者	環境事務局 高木 亜矢子
連絡先	TEL : 026 (226) 6061 FAX : 026 (228) 5459 HP : http://www.takagi-kk.co.jp/ E-mail : gm.eco@takagi-kk.co.jp

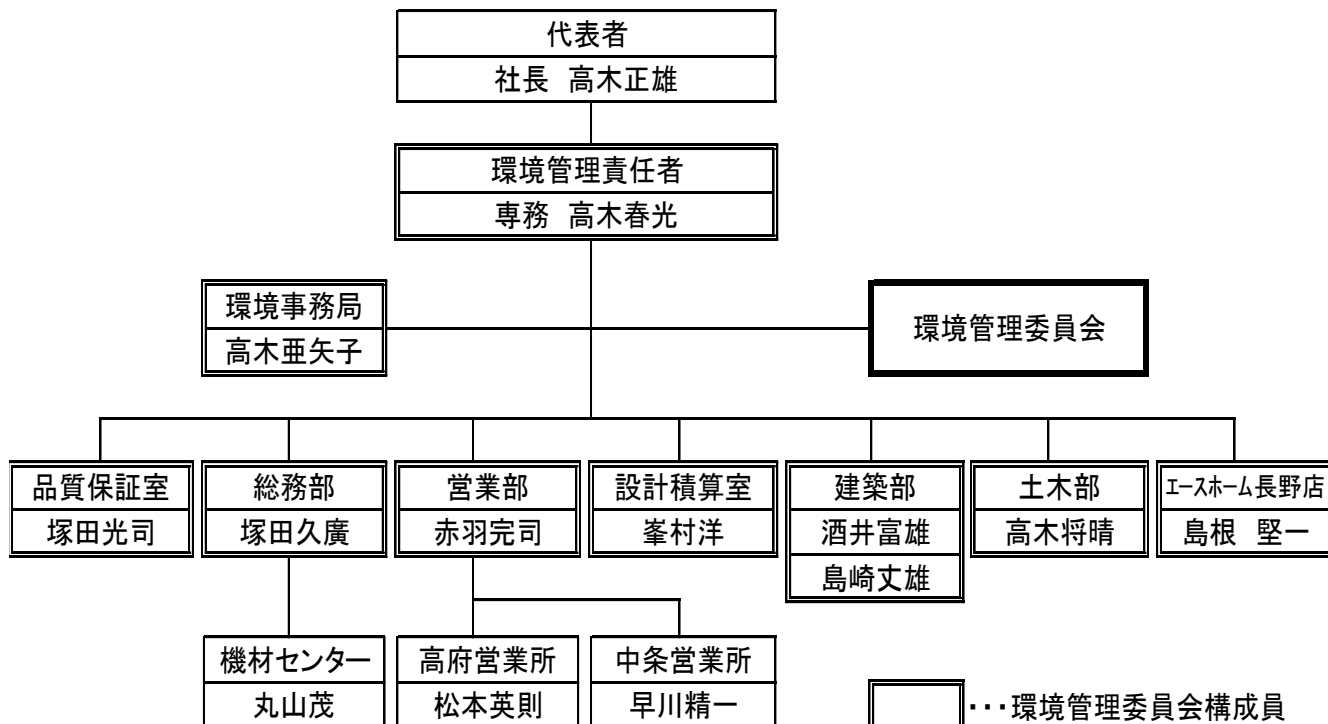
4) 事業内容

建設業	許可番号 長野県知事 許可(特-21)第3951号 建設業の種類 土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業 屋根工事業、電気工事業、管工事業、鋼構造物工事業 舗装工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業 造園工事業、建具工事業、水道施設工事業
宅地建物取引業許可	長野県知事(9)第2037号
一級建築士事務所	長野県知事登録(長野)M第43122号
産業廃棄物収集運搬業許可	長野県 2008069865 長野市 9501069865

5) 事業の規模

売上高	27億8,607万円 (58期:2008年8月16日~2009年8月15日)
従業員数	70名
本社建物	鉄骨造平屋建て 延床面積 632.06 m ²

6) 環境経営システム組織図



7) 環境経営システムにおける役割・責任・権限表

組織	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営システム運用のための人的資源・設備・技能・技術者並びに資金の確保 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境目標・環境活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理 責任者 (専務)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・運用・管理の責任者 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境目標・環境活動計画書の確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認

組 織	役 割・責 任・権 限
環境管理 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者＋部門長＋環境事務局が構成員 ・環境経営システム運用上の決議機関 ・環境目標・環境活動計画の策定
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境管理委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開
部 門 長 センター長 営業所長 店 長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施担当者 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の部員に対する教育訓練の実施、記録の作成 ・自部門・作業所に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門における緊急事態へのテスト、訓練を実施、記録の作成
全 社 員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針・環境目標の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的・主体的な環境活動への参加

3、基準年の環境負荷と環境目標

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

*目標値は、2007年度対比－3%（2008年）－3%（2009年）－4%（2010年）とし、3年間で－10%の削減を目指す。

*当社における取りまとめの期（期間）については、8月16日～翌年8月15日まで。
（産業廃棄物については年度管理とする。）

*運用開始は2009年1月から。

1) 二酸化炭素の排出量削減

- 1) － ① 電力の削減
- 1) － ② 自動車燃料（ガソリン）の削減
- 1) － ③ 自動車燃料（軽油）の削減
- 1) － ④ 灯油の削減

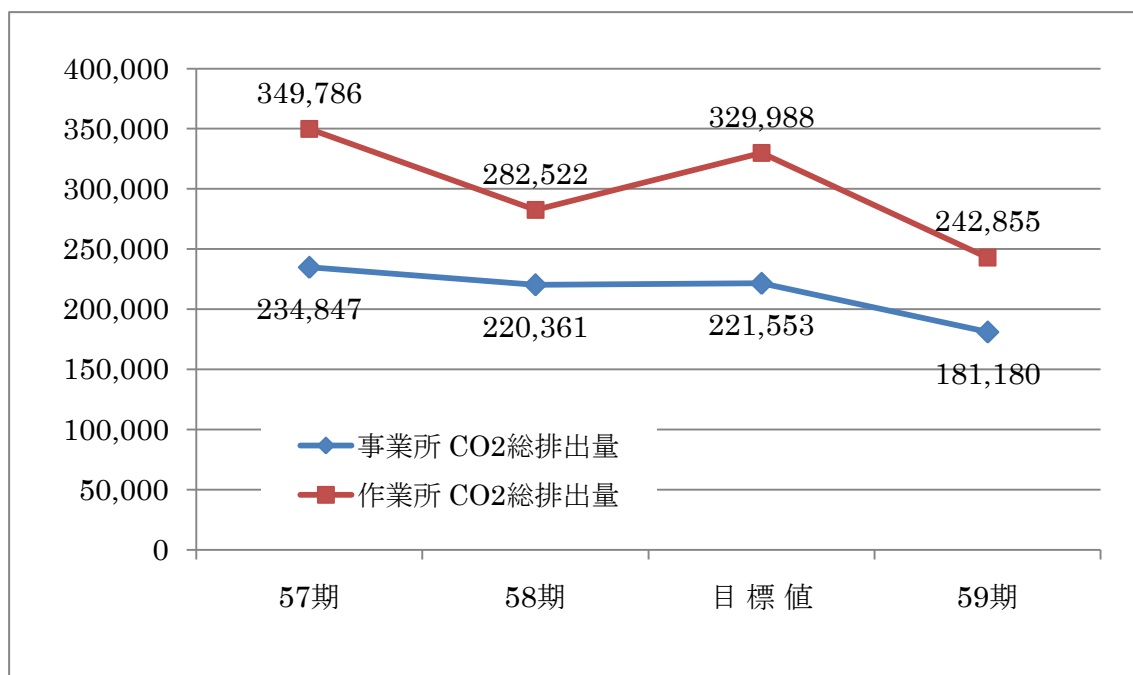
< 本社・事業所 >

環境目標	2007年実績 (57期)	2008年実績 (58期)	2009年目標値 (-6%)	2009年実績 (59期)
C02 総排出量 削減 (kg-C02)	234,847	220,361	221,553	181,180 (07 対比-22.9%)
電力 C02 排出量	38,648	35,114	36,460	29,138
ガソリン C02 排出量	160,347	158,955	151,270	155,021
軽油 C02 排出量	17,113	14,156	16,145	11,945
灯油 C02 排出量	18,460	11,936	17,415	13,891
LPガス C02 排出量	279	200	263	323

< 作業所 >

環境目標	2007年実績 (57期)	2008年実績 (58期)	2009年目標値 (-6%)	2009年実績 (59期)
C02 総排出量 削減 (kg-C02)	349,786	282,522	329,988	242,855 (07 対比-30.6%)
電力 C02 排出量	48,526	52,541	45,779	31,213
ガソリン C02 排出量	11,645	15,262	10,987	12,673
軽油 C02 排出量	164,783	161,221	155,456	155,274
灯油 C02 排出量	121,953	51,152	115,050	40,786
LPガス C02 排出量	2,879	2,346	2,716	2,909

< C02 総排出量の推移 >



* 各項目においては目標に対して未達成の場合もあるが、全体を通した C02 排出量は削減されている。

2) 廃棄物の削減

2) - ① 一般廃棄物（紙）の削減

2) - ①-1 紙資源のリサイクル

<全ての部門>

環境目標	2007年実績 (57期)	2008年実績 (58期)	2009年目標値 (+6%)	2009年実績 (59期)
白上質紙・雑誌 カクゴ等 (t)	1.27 (概算値)	1.66	1.34	2.12 (+40.1%)

*紙資源のリサイクル量、2007年比-6%ではなく+6%が目標である。

2) - ① 一般廃棄物（紙）の削減

2) - ①-2 可燃ごみの排出量削減

<本社・事業所>

環境目標	2007年実績 (57期)	2008年実績 (58期) 運用7ヵ月実績	2009年目標値 (-6%)	2009年実績 (59期)
可燃ごみ排出量 削減 (kg)	634 (参考値)	157.5 (参考値)	598	263.9 (-140.2%)

*2-①-1で紙資源のリサイクル率をUPさせ、可燃ごみ排出量を削減する。

2) - ② 産業廃棄物の削減（最終処分・単純焼却率の低減）

<作業所 産業廃棄物排出量 (t) >

環境目標	2007年実績	2008年実績	目標値	2009年実績
廃棄物総排出量(t)	7,579.31	39,764.27		10,417.20

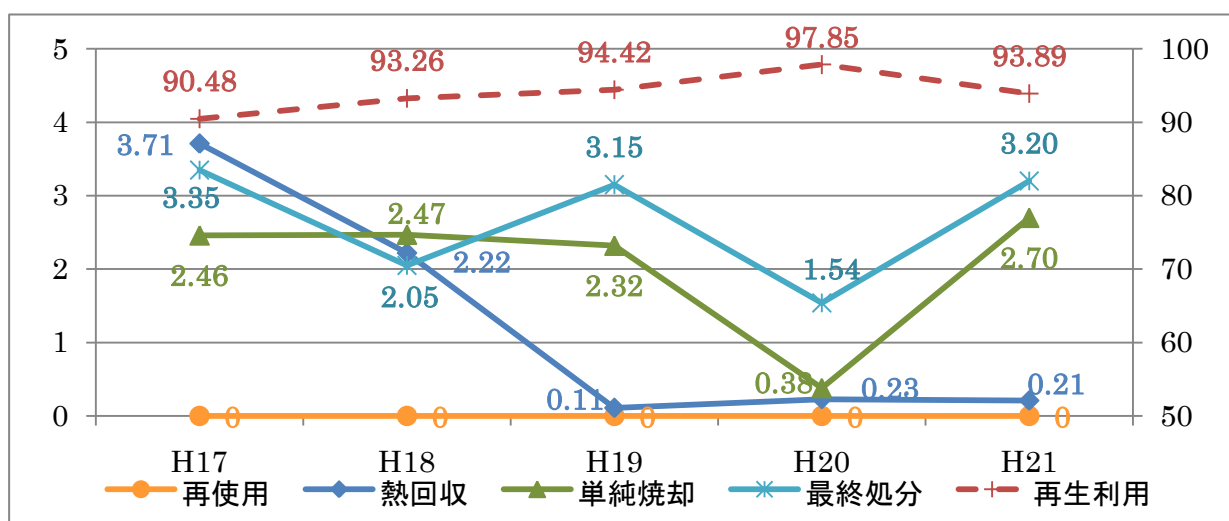
<循環資源・熱回収 量(t)・率(%)>

年 度		循環資源量		廃棄物量		廃棄物	合 計
		再使用	再生利用	熱回収	単純焼却	最終処分	
平成18年	量	0	11600.46	276.60	307.37	255.06	12439.49
	%	0%	93.26%	2.22%	2.47%	2.05%	100%
平成19年	量	0	7156.32	8.59	176.00	238.40	7579.31
	%	0%	94.42%	0.11%	2.32%	3.15%	100%
平成20年	量	0	38907.81	89.79	152.10	614.57	39764.27
	%	0%	97.85%	0.23%	0.38%	1.55%	100%
平成21年	量	0	9780.70	21.80	280.80	333.90	10417.20
	%	0%	93.89%	0.21%	2.70%	3.21%	100%

*産業廃棄物の排出量の削減を目指すものではなく、最終処分・単純焼却量を-6%削減し、循環資源・熱回収へ転換させることを目標としている。

*産業廃棄物の取りまとめについては、4月～翌年3月末日までとする。

<年度における排出量率(%)>



3) 水道使用量の削減

<本社・事業所>

環境目標	2007年実績 (57期)	2008年実績 (58期)	2009年目標値 (-6%)	2009年実績 (59期)
水道使用量(L)	619	479	583.9	564 (-8.9%)

<作業所>

環境目標	2007年実績 (57期)	2008年実績 (58期)	2009年目標値 (-6%)	2009年実績 (59期)
水道使用量(L)	654	411	616.9	448 (-13.5%)

4, 環境活動計画の内容と達成状況

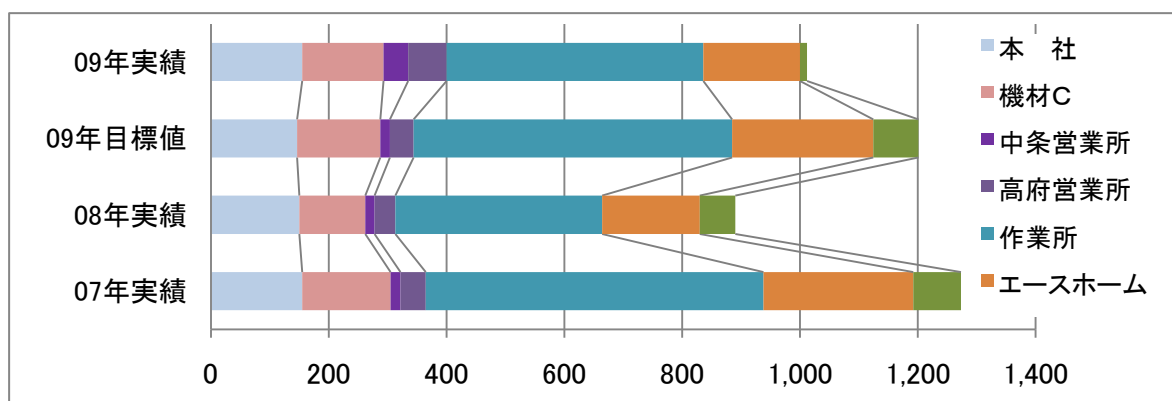
1, 二酸化炭素排出量の削減		
1-① 電力の削減		
<p><環境活動計画の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気使用の教育・訓練 ・不要照明の消灯・撤去 ・待機電力の防止 ・昼食時・外出時のPC電源OFF ・冷房28℃、暖房20℃設定 ・クールビス・ウォームビス運動 ・電気ポットの使用は原則禁止 ・太陽光発電の導入 ・取引先への節電協力の指導 ・ソーラーパネルを搭載した機材の使用 	<p>(事業所)達成区分：○</p> <p>07 実績：69635 kw</p> <p>08 実績：63268 kw</p> <p>目 標：65693 kw</p> <p>09 実績：52500 kw</p> <p>達成状況：-24.6%</p>	<p>評価：各自が積極的に節電に取り組んだ結果、目標は達成された。特に、太陽光発電の導入、設計積算室・土木部における夜間電力使用量の削減、機材センターにおける節電により大幅に使用量が削減された。</p> <p>また、土木部室南側にグリーンカーテン(ゴーヤ)を設置した。</p>
	<p>(作業所)達成区分：○</p> <p>07 実績：87433 kw</p> <p>08 実績：95823 kw</p> <p>目 標：82483 kw</p> <p>09 実績：56241 kw</p> <p>達成状況：-35.7%</p>	
1-② 自動車燃料(ガソリン)の削減		
<p><環境活動計画の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社有車・工事車両の燃費向上の啓発 ・全社有車の運転記録管理・点検実施 ・エコドライブの実施 ・アイドリングストップ ・急加速・急停車の防止 ・冷暖房の控え目使用 ・効率の良い営業・打合せ・現場管理等 ・相乗り乗車の強化 ・休祝日の社有車の使用禁止 	<p>(本社)達成区分：×</p> <p>07 実績：69065.46 L</p> <p>08 実績：68466.05 L</p> <p>目 標：65156.09 L</p> <p>09 実績：66771.73 L</p> <p>達成状況：-3.3%</p> <p>(燃費)</p> <p>08年実績 12.46km/リットル</p> <p>09年実績 12.41km/リットル</p>	<p>評価：目標は達成されなかったが、前年-0.9%より今年-3.3%と徐々に削減されている。今期より徹底している全社有車の運行記録管理の成果が表れている。</p> <p>燃費の向上については、前年とほぼ同様の数値となっている。引続き全社有車の燃費向上を図る。</p>
	<p>(作業所)達成区分：×</p> <p>07 実績：4845.83 L</p> <p>08 実績：6574.10 L</p> <p>目 標：4571.53 L</p> <p>08 実績：5211.34 L</p> <p>達成状況：+7.5%</p>	

達成区分：○目標達成, ×目標未達成

1-③ 自動車燃料（軽油）の削減		
<環境活動計画の概要> ・全社有車・工事車両の燃費向上の啓発 ・全社有車の運転記録管理・点検実施 ・エコドライブの実施 ・アイドリングストップ ・急加速・急停車の防止 ・冷暖房の控え目使用 ・建設機械の対策型機種仕様 ・建設機械 稼働時以外エンジンストップ	(本社)達成区分：○ 07 実績：6521.53 L 08 実績：5394.16 L 目 標：6152.38 L 09 実績：4551.71 L 達成状況：-30.2%	評価：軽油車が1台減少したこともあるが、各自が意識を持って取り組んだ結果、目標は達成された。ガソリン車同様に燃費向上を図る。
	(作業所)達成区分：○ 07 実績：62835.06 L 08 実績：61747.57 L 目 標：59278.35 L 09 実績：58023.58 L 達成状況：-7.7%	評価：今冬は降雪が多かったため除雪による使用量は53.1%と増加したが、全体を通して削減され、目標は達成された。
1-④ 灯油の削減		
<環境活動計画の概要> ・灯油使用の教育・訓練 ・暖房の設定温度20℃ ・必要以外の暖房機器のスイッチOFF ・ウォームビス運動 ・薪ストーブの使用 ・取引先への灯油使用削減の指導 ・灯油タンク設置状況の確認	(事業所)達成区分：○ 07 実績：7124.3 L 08 実績：4636.6 L 目 標：6742.7 L 09 実績：5472.2 L 達成状況：-23.2%	評価：今冬は寒冬であったが、薪ストーブ、設定温度の配慮、ウォームビスの取組によって目標は達成された。
	(作業所)達成区分：○ 07 実績：21384.4 L 08 実績：20557.3 L 目 標：20173.9 L 09 実績：16469.3 L 達成状況：-23.0%	評価：建築現場においては+30%と増加したが、土木現場及び機材センター焼却炉の使用量が激減したため、目標は達成された。
2, 廃棄物の削減		
2-① 一般廃棄物（紙）の削減		2-①-1 紙資源のリサイクル
・紙資源の回収及びリサイクル ・ダンボール回収及びリサイクル ・コピー用紙裏面使用 ・ミスコピー・ミス印刷の防止 ・分別方法の指導・徹底 ・資料のペーパーレス化 ・作業所等本社への持ち込みの指導・徹底	(全社)達成区分：○ 目 標：1.346 t 08 実績：1.661 t 09 実績：2.120 t 達成状況：+57.5% (リサイクル率 up)	評価：資源化に対する各自の意識が高まり、紙資源のリサイクル量が増加し、目標が達成された。作業所からの紙資源の持ち込みも昨年より増加した。

2-① 一般廃棄物（紙）の削減		2-①-2 可燃ごみの排出量削減		
<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみの分別・リサイクルの指導・徹底 ・メモ用紙等の雑紙もリサイクルへ ・各自によるゴミ箱の処理の徹底 ・廃棄物の発生抑制 		(全社)達成区分：○ 目 標：634.0 kg 08 実績：157.5 kg (7ヶ月分の実績) 09 実績：236.9 kg 達成状況：-140.2% (可燃ごみ排出量 down)		評価：各自によるゴミ分別処理、紙資源のリサイクルの意識が高まった結果、可燃ごみの排出量が減り、目標が達成された。
2-② 産業廃棄物の削減				
<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底 ・単純焼却・最終処分量の削減 ・循環資源・熱回収への転換 ・委託契約書・マニフェスト管理の確認 ・廃棄物中間・最終処分場のチェック 		評価：産業廃棄物総排出量より各項目の%を算出した結果、単純焼却・最終処分率はマイナス目標に対して若干プラス、再生利用は90%以上で達成、熱回収はプラスとなり達成となった。総排出量は、大規模解体工事の受注が無かったため、減少となっている。		
項 目	単純焼却率 (down)	最終処分率 (down)	再生利用率 (up)	熱回収率 (up)
07 実績	2.32%	3.15%	94.42%	0.11%
08 実績	0.38%	1.55%	97.85%	0.23%
目 標	2.18%	2.97%	90%以上	0.116%
09 実績	2.70%	3.21%	93.89%	0.21%
達成状況	+0.52% ×	+0.24% ×	-0.53% ○	+0.094% ○
3, 水道使用量の削減				
3, 水道使用量の削減				
<ul style="list-style-type: none"> ・節水の呼び掛け ・台所で使用する水の節水 ・トイレの節水 ・水の出っぱなし防止 ・雨水の利用促進 		(事業所)達成区分：○ 07 実績：619.0 L 08 実績：479.0 L 目 標：583.9 L 09 実績：564.0 L 達成状況：-8.9%		評価：節水の意識付けにより各自が積極的に取り組み、目標が達成された。雨水タンクを設置してプランターの水くれに利用し、水道使用量の削減を図った。
		(作業所)達成区分：○ 07 実績：654.0 L 08 実績：411.0 L 目 標：616.9 L 09 実績：448.0 L 達成状況：-31.5%		

達成区分：○目標達成， ×目標未達成



5. 環境活動の取組結果の評価

エコアクション21環境経営システムを運用して1年9ヶ月、社内会議体及びE C O通信等を通して継続的な社員教育・指導を行うことで、社員の省エネルギー・節約の意識が高まり、環境目標の達成が見られた。事業所及び作業所における節電、資源ゴミのリサイクル、雨水利用、グリーンカーテンの設置、各自診断による社有車燃費計測等、社員の積極的な取組みの結果によるものと思われる。各作業所においても現場巡回時（パトロール等）の報告より、協力会社へ省エネルギー・節約・環境配慮の指導が行われ、積極的な取組みがうかがえる。

本年度より、環境保全に対する意識が高く、かつ率先して日常の環境保全活動を推進した社員にE C O表彰を贈り、更なる環境への配慮、省エネルギーの積極的な取り組みを図っている。

また、2010年8月には長野市より「ながのエコ・サークル ゴールドランク」の認定をいただきました。より一層、省エネルギー・節約に邁進し、環境目標の達成と環境保全を基盤とした経営健全を図り、安心・安全な地域社会づくりに貢献します。

6. 社会及び地域への取組み

- ・環境整備活動（ボランティア活動） 1回／月
- ・裏山整備活動 2～3回／年
- ・冬季雪かき 積雪があった場合
- ・災害時井戸水供給協定 通年
- ・権現様（お地藏様）廻り草刈り 1～2回／年
- ・会社周辺及び散歩コースのゴミ拾い 通年
- ・作業所における環境整備活動 1回以上／施工中
- ・献血 2回／年



7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1) 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例を事業所、作業所ともに遵守しており、違反はありません。また、関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありません。

NO.	法律名	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	騒音規制法	◆特定建設作業実施の届出	遵法
2	振動規制法	◆特定建設作業実施の届出	遵法
3	水質汚濁防止法	◆貯油施設の事故時の応急措置と届出	遵法

NO.	法 律 名	遵守すべき要求事項	遵守状況
4	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	◆産業廃棄物収集運搬業者、処分業者との契約（許可の確認、委託契約書の保存）	遵 法
		◆産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付（マニフェストの保存）	遵 法
		◆産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵 法
		◆（多量排出事業者） ・産業廃棄物処理計画書及び産業廃棄物処理計画実施状況報告書の提出	遵 法
		◆（産業廃棄物収集運搬業者） ・産業廃棄物収集運搬業の許可 ・産業廃棄物排出業者との契約（委託契約書の保存・マニフェストの保存） ・産業廃棄物の運搬実績報告書の提出	遵 法 遵 法 遵 法
5	消防法	◆少量危険物の貯蔵又は取扱いの届出	遵 法
6	高圧ガス保安法	◆危険時通報届	遵 法
		◆事故届	遵 法
7	フロン回収・破壊法	◆業務用冷凍空調機器の廃棄・整備時のフロン類の回収	遵 法
8	資源の有効な利用の促進に関する法律	◆再生資源利用計画書の作成、実施状況の記録、保存	遵 法
		◆再生資源利用促進計画の作成、実施状況の記録、保存	遵 法
9	建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	◆対象建設工事の届出事項の説明及び届出事項の告知	遵 法
		◆再資源化の報告	遵 法

2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去3年間、1件も発生しておりません。